

「信州須坂 健康長寿食の研究開発拠点&農家チャレンジショップ」整備事業

交付金対象事業の背景と概要	<b>&lt;A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)&gt;</b>
	●「須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、健康長寿発信都市「須坂JAPAN」(長寿健康づくりで地域活性化を目指す)を重点施策として推進している。本交付金を活用して拠点施設を整備し、健康長寿食を開発することで事業機会(しごとづくり)の創出を図り、活力あるまちづくりを進める。ポテンシャルが高い観光産業の活性化による交流人口の増加、まちの活力を取り戻すために拠点施設の整備が欠かせない。
	<b>&lt;B. 地方創生の実現における構造的な課題&gt;</b>
	●須坂市は人口減少と交流人口減少に伴った観光業、農業、サービス業(飲食業等)の衰退という課題を抱えている。本施設整備を実施することで事業機会の創出、雇用増加を図るとともに、農商工観連携など産業・市場の裾野を拡大し、観光業だけではなく有機的連携による持続化可能な地域産業の発展を目指す。
	<b>&lt;C. 交付対象事業の概要&gt;</b>
●健康長寿と地元食材を結び付けて高付加価値化を図り、当市の農業・食品事業者の生産性を向上させるとともに、市内飲食店へ普及させ、市内飲食店の雇用創出と所得向上を図る「健康長寿食の研究開発拠点」を整備する。 ●農家が地元農産物を使って開発した加工商品や新品種の農産物等を試験的に販売するなど、テストマーケティング施設を整備する。	
<b>&lt;D. 施設の目的・実施予定の事業等&gt;</b>	
(1)健康長寿食の研究開発拠点 「健康長寿の秘密は食にあり」と言われるように、健康長寿と新鮮で栄養価が高い食材を結び付けることにより、高付加価値化を図ることが、当市の農業・食品製造業の生産性の向上につながる機会であるため、「健康長寿食の研究開発拠点」を整備し、当市の地域資源である健康長寿日本一と新鮮で栄養価が高い地元食材(味噌、農産物、果物等)を結び付けた新商品開発に取り組む。	
(2)農家チャレンジショップ 健康長寿食の研究開発拠点で開発された新商品の磨き上げや、農家が地元農産物を使って開発した加工商品、新品種の農産物等を試験的に販売する等テストマーケティングの場として活用するとともに、販売先を確保することで、新品種や加工食品の生産・開発にチャレンジできる環境を整備する。	
(1)と(2)の取組みと併せて、開発されて磨かれた新商品・新農産物を活用したメニューを市内飲食事業者と連携し、普及することで、新商品の販売先確保・知名度上昇・販売増を目指すとともに、「健康長寿のまち須坂」として魅力を高め、飲食業者・観光業者の誘客増・販売単価の上昇にもつなげる。	
<b>【地域の中堅・中小・小規模事業者の生産性革命との関係】</b> 市内の農業者や食品事業者の新商品開発(健康長寿食開発)を加速させるため、研究開発とテストマーケティングを行う施設整備を行うとともに、市内飲食店へ開発した健康長寿食を普及させることで、知名度向上・高付加価値化・販売先確保による農業者や食品事業者の生産性向上とともに、市内飲食業の雇用創出と所得向上を図る。さらに、開発した健康長寿食を商品化し、地方創生推進交付金を活用して取り組んでいる「信州須坂フルーツ発泡酒」を販売いただいている旅館やホテルなどに協力いただき、提供する店舗を市内外に増やし、農業者や加工業者のさらなる収益増加につなげる。	